

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【公開番号】特開 2004-43356 (P2004-43356A)

【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2004-006

【出願番号】特願 2002-202627 (P2002-202627)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/04 (2006.01)

C 0 7 D 319/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/09

C 0 7 D 319/24

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 2 日 (2007.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石、真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも 1 つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水（特殊水）を煮沸して pH を 8.5 pH 10.0 にしたものと、前記特殊水に炭酸水素ナトリウムを入れて煮沸したものと、L-システインとを混合したことを特徴とするウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 2】前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも 1 つから成る金属を混在させたことを特徴とする請求項 1 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 3】前記特殊水を煮沸して pH を 8.5 pH 10.0 にしたものの重量比を 25%～50%と、前記特殊水 1 リットルに対し前記炭酸水素ナトリウムを 10g～200g 入れて煮沸したものの重量比を 25%～50%と、L-システインの重量比を 5%～25%とすることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 4】前記特殊水を煮沸して pH を 8.5 pH 10.0 にしたものと前記特殊水に前記炭酸水素ナトリウムを入れた水と前記 L-システインとを混合して成るものの重量 100 に対し、パパイヤかイチジクかパイナップルの重量 20 以上を混合したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 5】前記特殊水を煮沸したものの pH を 8.9 pH 9.5 としたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 6】前記トルマリンと前記金属との重量比を 10:1～1:10 としたことを特徴とする請求項 2 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 7】最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石、真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも 1 つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水（特殊水）にトルマリンとアルミとを入れて煮沸して pH を 8.5 pH 10.0 にしたものと、前記特殊水に炭酸水素ナトリウムを入れて沸騰させたものと、L-システインとを混合したことを特徴とするウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 8】 前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも 1 つから成る金属を混在させたことを特徴とする請求項 7 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 9】 前記特殊水にトルマリンとアルミニウムとを入れて沸騰して pH を 8.5 pH 10.0 にしたものの重量比を 25% ~ 50% とし、前記特殊水に炭酸水素ナトリウムを溶かして沸騰させたものの重量比を 25% ~ 50% とし、前記 L - システインの重量比を 5% ~ 25% としたことを特徴とする請求項 7 または 8 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 10】 前記特殊水を煮沸したものの pH を 8.9 pH 9.5 としたことを特徴とする請求項 7 乃至 9 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 11】 前記特殊水に炭酸水素ナトリウムを溶かして沸騰させたものにおいて、前記特殊水または水の重量 100 に対し、炭酸水素ナトリウムの重量を 1 乃至 10 とすることを特徴とする請求項 7 乃至 9 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 12】 前記トルマリンと前記金属との重量比を 10 : 1 ~ 1 : 10 としたことを特徴とする請求項 8 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 13】 最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石、真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも 1 つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水（特殊水）にトルマリンとアルミニウムとを入れて煮沸して pH を 8.5 pH 10.0 にしたものと、L - システインとを混合したことを特徴とするウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 14】 前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも 1 つから成る金属を混在させたことを特徴とする請求項 13 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 15】 前記特殊水にトルマリンとアルミニウムとを入れて沸騰したものの重量 100 に対し、前記 L - システインの重量を 20 以上としたことを特徴とする請求項 13 または 14 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 16】 前記特殊水を煮沸したものの pH を 8.9 pH 9.5 としたことを特徴とする請求項 13 又は 14 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 17】 前記トルマリンと前記金属との重量比を 10 : 1 ~ 1 : 10 としたことを特徴とする請求項 14 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 18】 最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石、真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも 1 つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水（特殊水）と、クエン酸または梅酢と、炭酸水素ナトリウムとを混合したことを特徴とするウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 19】 前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも 1 つから成る金属を混在させたことを特徴とする請求項 18 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 20】 前記特殊水の重量比を 15% ~ 35% とし、前記クエン酸または梅酢の重量比を 15% ~ 35% とし、前記炭酸水素ナトリウムの重量比を 30% ~ 70% としたことを特徴とする請求項 18 または 19 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 21】 前記トルマリンと前記金属との重量比を 10 : 1 ~ 1 : 10 としたことを特徴とする請求項 19 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明に係るウェーブ・カール用パーマ液の第一液は、最初にイオン交換樹脂に通過さ

せ、その後トルマリンと、黒曜石，真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも1つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水（特殊水）を煮沸してpHを8.5 pH 10.0にしたものと、前記特殊水に炭酸水素ナトリウムを入れて煮沸したものと、L-システインとを混合したものである。本発明のウエーブ・カール用パーマ液の第一液は、前記トルマリンに、アルミニウム，ステンレス及び銀のうちの少なくとも1つから成る金属を混在させたものである。更に、前記特殊水を煮沸してpHを8.5 pH 10.0にしたものの重量比を25%～50%と、前記特殊水1リットルに対し前記炭酸水素ナトリウムを10g～200g入れて煮沸したものの重量比を25%～50%と、L-システインの重量比を5%～25%としたものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係るウエーブ・カール用パーマ液の他の第一液は、最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石，真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも1つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水（特殊水）にトルマリンとアルミニウムとを入れて煮沸してpHを8.5 pH 10.0にしたものと、前記特殊水に炭酸水素ナトリウムを入れて沸騰させたものと、L-システインとを混合したものである。本発明のウエーブ・カール用パーマ液の他の第一液は、前記トルマリンに、アルミニウム，ステンレス及び銀のうちの少なくとも1つから成る金属を混在させたものである。更に、前記特殊水にトルマリンとアルミニウムとを入れて沸騰してpHを8.5 pH 10.0にしたものの重量比を25%～50%とし、前記特殊水に炭酸水素ナトリウムを溶かして沸騰させたものの重量比を25%～50%とし、前記L-システインの重量比を5%～25%としたものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係るウエーブ・カール用パーマ液のその他の第一液は、最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石，真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも1つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水（特殊水）にトルマリンとアルミニウムとを入れて煮沸してpHを8.5 pH 10.0にしたものと、L-システインとを混合したものである。本発明のウエーブ・カール用パーマ液のその他の第一液は、前記トルマリンに、アルミニウム，ステンレス及び銀のうちの少なくとも1つから成る金属を混在させたものである。更に、前記特殊水にトルマリンとアルミニウムとを入れて沸騰したものの重量100に対し、前記L-システインの重量を20以上としたものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係るウエーブ・カール用パーマ液の第二液は、最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石，真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも1つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水（特殊水）と、クエン酸または梅酢と

、炭酸水素ナトリウムとを混合したものである。本発明のウェーブ・カール用パーマ液の第二液は、前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも１つから成る金属を混在させたものである。更に、前記特殊水の重量比を１５％～３５％とし、前記クエン酸または梅酢の重量比を１５％～３５％とし、前記炭酸水素ナトリウムの重量比を３０％～７０％としたものである。